

50

大分県立芸術文化短期大学
創立50周年記念



レクチャー・コンサート

チェコ・ピアノ作品への

いざない～チェコ舞曲～

日時：6月21日（火） 18時30分開場 19時開演
場所：大分県立芸術文化短期大学 音楽棟小ホール
受講料：無料

フレデリック・ショパン（1810-1849）が、ポーランド・マズルカを不朽のものとしたように、ベドジフ・スメタナ（1824-1884）は、徹底的にチェコ固有の舞曲集を作曲することを決めました。

スメタナは自身のチェコ舞曲集について、次のように語っています。

「すべてのチェコ人は、チェコの舞曲を知っているべきだ。」

事実、西洋音楽の大規模かつ重要な部分は、舞曲に根ざしている、あるいはインスピレーションを受けているため、すべての音楽家は舞曲を知っている必要があるといえます。さらに、音楽を「ダンス」させることは、われわれ奏者にとって大きな目標のひとつでもあります。

このレクチャー・リサイタルでは、スメタナのピアノ作品「チェコ舞曲集」に焦点をあて、知られざるチェコ舞曲の魅力に迫ります。（講師筆）

<レクチャー・コンサートで取り上げる主な作品>

B. スメタナ：チェコ舞曲集、ポルカ

B. マルチヌー：3つのチェコ舞曲、ポルカ

講師：マルティン・カルリーチェク（ピアニスト） 通訳：白石茉奈（しらいし まな）

募集定員・方法

定員：120名（先着順）

受講希望者は、氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、芸術文化短期大学 広報室にお申し込みください。

受講申込・お問い合わせ先

〒870-0833 大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学 広報室

TEL: 097-545-0542（代表） FAX: 097-545-0543 E-mail: koho-f@oita-pjc.ac.jp



マルティン・カルリーチェク Martin Karliček

チェコ出身のピアニスト。チェコ、プルゼニ・コンセルバトワール、ブラハ音楽院、オランダ、ユトレヒト音楽院を経て、カナダ、マギル大学にて博士課程を修了。1994年、B. スメタナ国際ピアノコンクールにおいてスメタナ賞、1995年、南ボヘミア国際ピアノコンクールでは1位およびリスト賞を獲得。さらに2001年に行われたブラハ・ウィーン・ブダペスト夏期国際アカデミーコンクールにおいてバルトーク賞、ヤナーチェク賞及びマルチヌー賞を与えられる。2004年、フェリックス・フレデリック・バルリ作曲のピアノ協奏曲「Déviations」を世界初演、そして2005年、マルティン・マタロン作曲「Las siete Vidas de un Gato」を北米初演するなど現代音楽の演奏にも定評がある。「彼の世代で最も才能あるピアニストの一人」「成熟した、経験豊富なアーティスト」などとカルリーチェクの評価は高く、チェコ、ドイツ、オーストリア、カナダ、ギリシャ、アメリカ、日本各地で演奏会に多数出演、精力的に演奏活動を行っている。また、2008年にはヴァイオリニスト、白石茉奈とともにデュオ・ヴェンタパーネを結成、演奏活動を行っている。現在、マギル大学にて後進の指導にもあたっている。